

無料入館

近代人の休日

さいたま市立博物館 収蔵品展

— 余暇と娯楽の明治・大正・昭和 —



令和5年

期間 **3月4日(土)～6月11日(日) 9時～16時30分**

❖ 休館日 月曜日(5月1日は開館)、3月22日(水)、5月2日(火)・9日(火)～11日(木)

さいたま市立博物館

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町2-1-2
TEL: 048-644-2322 FAX: 048-644-2313



ウェブサイト

❖ さいたま市立博物館ウェブサイト
<https://www.city.saitama.jp/004/005/004/005/008/index.html>



Twitter

❖ さいたま市の博物館Twitter
<https://twitter.com/SaitamaMuseum>



● 大宮駅から徒歩15分
● 駐車場が狭いので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

さいたま市立博物館 収蔵品展

近代人の休日

—余暇と娯楽の明治・大正・昭和—

近代化は、我が国の人々の働き方にも変化を及ぼしました。生活の場から離れた職場で働いて給与を受け取る働き方が広まるとともに、働いている世代の人々が、仕事を離れて自分のために使うことができる時間——いわゆる「余暇」も増大しました。近世以前からあった余暇の過ごし方に加えて、新たな楽しみ方としての「娯楽」が登場しました。

今回の展示では、様々な余暇と娯楽のうち、「音楽」「演劇・映画」「行楽・旅行」「スポーツ・イベント」の4つのテーマについて、当館の収蔵資料をもとに、近代の人々が余暇をどのように過ごしてきたのかを紹介します。



野田いちご園ちらし 昭和11年(1936)



お土産用民芸品 昭和40年～50年代



埼玉会館映画ちらし 昭和初期



大宮競馬場関連資料 昭和6年(1931)～14年(1939)

関連講座

「大衆娯楽研究の先駆者 権田保之助」

講師：坂内 夏子 氏（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）
日時：3月12日（日） 14時00分～16時00分

申込／3月3日（金）9時から
さいたま市立博物館へ電話でお申し込みください（先着順）
定員／30名
費用／無料
会場／さいたま市立博物館講座室

学芸員による展示解説

開催日時／3月11日（土）・4月8日（土）・
5月6日（土）・6月3日（土）
各日とも11時～14時～
所要時間／約30分
申込／不要 時間までに会場へお越しください
費用／無料
会場／さいたま市立博物館特別展示室

さいたま市立博物館

〒330-0803

さいたま市大宮区高鼻町2-1-2 TEL：048-644-2322 FAX：048-644-2313

※新型コロナウイルス感染症対策を行っております。なお、新型コロナウイルス感染症の状況により、展示期間、講座等が変更となる場合があります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

※このチラシは8,000枚作成し、1枚当たりのコストは14円です。